

令和2年度  
第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日 時：令和2年9月18日（金）14：30～16：00  
場 所：サンセール盛岡 1階 ダイヤモンド

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 委員長等の選出について

(2) 令和3年度以降の「いわての森林づくり県民税」（素案）への意見について

(3) いわて環境の森整備事業の施工地審査について

(4) その他

3 閉 会

いわての森林づくり県民税事業評価委員会委員名簿

(令和2年9月4日現在)

氏 名	役 職 名 等	備 考
岩 田 智	岩手県立大学宮古短期大学部 教授	御欠席
國 崎 貴 嗣	岩手大学農学部 准教授	
佐 藤 貴美子	斎藤機械店 営業事務	
佐 藤 重 昭	徳清倉庫株式会社 代表取締役	御欠席
野 口 麻穂子	国立研究法人森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所 育林技術研究グループ 主任研究員	
橋 浦 栄 一	岩手県消費者団体連絡協議会 常任幹事	
水 野 匠	岩手県商工会議所連合会 事務局次長	
村 中 ゆり子	盛岡市立米内幼稚園 園長	
吉 野 英 岐	岩手県立大学総合政策学部 教授	
若 生 和 江	環境アドバイザー	

(五十音順)

1 委員 10名

2 任期 令和2年9月4日～令和4年9月3日

令和2年度 第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会 県関係出席者名簿

役 職 等	氏 名	備 考
農林水産部 林務担当技監	橋 本 卓 博	
林業振興課 総括課長	高 橋 一 志	
振興担当課長	小 川 健 雄	
主任主査	岩 崎 正	
主任主査	村 上 明 子	
主 査	鈴 木 将 人	
主 事	東 智 優	
森林整備課 主任主査	橋 本 吉 弘	
主任主査	伊 藤 秀 行	
主 査	中 嶋 康	
盛岡広域振興局林務部 主任主査	佐 藤 英 明	
いわて環境の森整備推進員	鵜 原 斉 行	
県南広域振興局林務部 主任主査	高 橋 秀 樹	
上席林業普及指導員	北 林 慎 子	
花巻農林振興センター 主任林業普及指導員	木 村 経 三	
遠野農林振興センター 技 師	村 田 智 史	
一関農林振興センター 上席林業普及指導員	佐 藤 一 哉	
沿岸広域振興局農林部 上席林業普及指導員	中 村 文 治	
宮古農林振興センター林務室 技 師	中 村 日 香	
岩泉林務出張所 上席林業普及指導員	須 藤 勝 吉	
県北広域振興局林務部 技 師	菅 井 峻 矢	
二戸農林振興センター林務室 技 師	及 川 純	

## 「いわての森林づくり県民税」（素案）に係るパブリックコメント等の結果

### 1 趣旨

令和3年度以降の「いわての森林づくり県民税」（素案）について、県民及び各種団体関係者等から広く意見を伺い、最終案を策定する際の参考とするため、パブリックコメント、地域説明会、林業関係団体や岩手県森林審議会との意見交換を実施。

### 2 概要

#### (1) パブリックコメント【期間：7月29日(水)～8月31日(月)】

意見等：7件

#### (2) 岩手県森林・林業会議との意見交換【開催日：7月29日(水)】

出席者：24名（林業関係団体の役職員等）

意見等：7件

#### (3) 岩手県森林審議会との意見交換【開催日：8月3日(月)】

出席者：委員12名

意見等：11件

#### (4) 県民への地域説明会

出席者：県内4箇所（広域振興局単位）で計98名  
（林業事業体職員、市町村職員、一般県民等）

月 日	開催地	会 場	参加者数
8月18日(火)	盛岡市	岩手県民会館	32名
8月19日(水)	奥州市	奥州地区合同庁舎	28名
8月20日(木)	釜石市	釜石地区合同庁舎	21名
8月21日(金)	久慈市	久慈地区合同庁舎	17名

意見等：38件

8月18日(火) 地域説明会 盛岡会場



8月20日(木) 地域説明会 釜石会場



### 3 素案に関する主な意見等

#### (1) パブリックコメント

- ・県産木材の利用促進を拡充して欲しい。
- ・「木育」「木づかい」活動も対象として欲しい。

#### (2) 森林・林業会議

- ・木育推進の記述に児童・生徒だけでなく、「園児」という言葉を入れて欲しい。

#### (3) 森林審議会

- ・地域の森林活動を推進する人材育成とはどのような方なのか。
- ・県産木材の活用<sup>の記載</sup>について、具体的なイメージがつかない。
- ・県民税と譲与税の関係性を整理した表について、県が市町村の譲与税の用途を規定していると誤解されないよう説明等が必要ではないか。
- ・県民税と譲与税の関係性を整理した表について、2段目の人材育成と3段目の木材利用は、県民税と県の譲与税の用途を区分したものなので、誤解されないよう説明等が必要ではないか。

#### (4) 地域説明会

- ・木育の取組を厚くしてほしい
- ・県民税の植栽箇所については、下刈や除伐も事業対象にして欲しい。
- ・作業道は、安全性の確保や今後の森林管理を考慮した規格として欲しい。
- ・森林経営計画を策定していない箇所も植栽の対象として欲しい。
- ・人材育成の取組を充実して欲しい。

## 令和3年度以降の「いわての森林づくり県民税」素案に係るアンケート調査について

### 1 調査の目的

平成18年度から導入している「いわての森林づくり県民税」による森林環境保全施策の成果の検証と今後のあり方等の検討に資するため、県民、法人及び森林所有者を対象としてその意識とニーズを明らかにする目的で県民意識アンケート調査を実施。

### 2 調査の内容

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女個人2,000人
- (2) 抽出方法 選挙人名簿から無作為抽出
- (3) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送）
- (4) 調査時期 令和2年8月
- (5) 回答数 766件（回収率38.3%）

### 3 調査結果の概要

#### (1) 施策の方向性に関して

##### ア 現行の仕組みや用途の継続について

現行の取組を今後も継続することに「賛成」又は「どちらかといえば賛成」とした割合は、回答者の77.3%（前回H27：72.6%）

##### イ 令和3年度以降継続する場合の期間について

「現状（5年）のままでよい」とした割合は、回答者の53.4%（前回H27：54.5%）

##### ウ 令和3年度以降継続する場合の負担額について

「現状（1,000円）のままでよい」とした割合は、回答者の70.0%（前回H27：66.0%）

#### (2) 具体的な取組に関して

##### ア 「環境重視の森林づくり」の取組について、特に重要と思われるものは何か

「森林環境を保全する植栽」が最も重要と回答した者が概ね7割。次いで、「気象被害等を受けた森林の整備」、「病虫害の防除対策」と続く。

（森林環境を保全する植栽（67.4%）、気象被害等を受けた森林の整備（56.5%）、  
森林病虫害の防除対策（44.0%）、森林の整備や管理のための道路整備（36.2%）、  
針広混交林への誘導（26.9%）

##### イ 「森林との共生」の取組について、特に重要と思われるものは何か

回答が最も多かったものは「人材育成」（51.2%）、次いで、「森林づくり活動への支援」、「森林環境学習の展開」と続く。

（地域の森林整備活動を推進する人材育成（51.2%）、森林づくり活動への支援（47.4%）、  
森林環境学習の展開（46.3%）、木育の推進や公益機能の維持・増進につながる県産木材  
の活用（43.1%）

令和3年度以降の「いわての森林づくり県民税」素案に係る  
アンケート調査結果について  
(対象:一般県民2,000人)

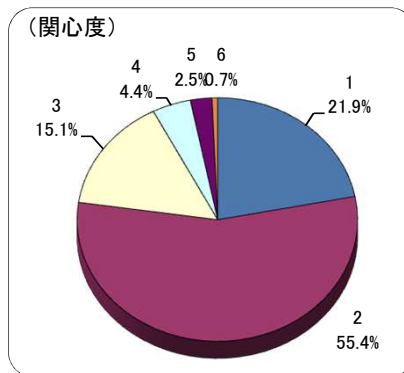
- (1) 調査対象 県内に居住する20歳以上の男女個人
- (2) 調査対象者数 2,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿等から無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- (5) 調査時期 平成27年7～8月
- (6) 回収結果 回収率 38.3% 766/2000人

回答者属性																			
<p>(性別)</p> <table border="1"> <tr><td>1 男性</td><td>325人</td></tr> <tr><td>2 女性</td><td>389人</td></tr> <tr><td>3 無回答</td><td>52人</td></tr> </table>	1 男性	325人	2 女性	389人	3 無回答	52人	<p>(性別)</p>												
1 男性	325人																		
2 女性	389人																		
3 無回答	52人																		
<p>(年代)</p> <table border="1"> <tr><td>1 10代</td><td>4人</td></tr> <tr><td>2 20代</td><td>34人</td></tr> <tr><td>3 30代</td><td>55人</td></tr> <tr><td>4 40代</td><td>101人</td></tr> <tr><td>5 50代</td><td>117人</td></tr> <tr><td>6 60代</td><td>196人</td></tr> <tr><td>7 70代</td><td>145人</td></tr> <tr><td>8 80代～</td><td>80人</td></tr> <tr><td>9 無回答</td><td>34人</td></tr> </table>	1 10代	4人	2 20代	34人	3 30代	55人	4 40代	101人	5 50代	117人	6 60代	196人	7 70代	145人	8 80代～	80人	9 無回答	34人	<p>(年代)</p> <p>年代別では、60代が一番多く、次に70代、50代と続く。</p>
1 10代	4人																		
2 20代	34人																		
3 30代	55人																		
4 40代	101人																		
5 50代	117人																		
6 60代	196人																		
7 70代	145人																		
8 80代～	80人																		
9 無回答	34人																		
<p>(職業)</p> <table border="1"> <tr><td>1 農林水産業</td><td>42人</td></tr> <tr><td>2 建設・製造業</td><td>97人</td></tr> <tr><td>3 サービス業</td><td>107人</td></tr> <tr><td>4 公務員・団体職員</td><td>76人</td></tr> <tr><td>5 専業主婦(主夫)</td><td>119人</td></tr> <tr><td>6 学生</td><td>15人</td></tr> <tr><td>7 無職</td><td>161人</td></tr> <tr><td>8 その他</td><td>105人</td></tr> <tr><td>9 無回答</td><td>44人</td></tr> </table>	1 農林水産業	42人	2 建設・製造業	97人	3 サービス業	107人	4 公務員・団体職員	76人	5 専業主婦(主夫)	119人	6 学生	15人	7 無職	161人	8 その他	105人	9 無回答	44人	<p>(職業)</p> <p>職業では、多い順で無職、業主婦(主夫)、サービス業となっている。</p>
1 農林水産業	42人																		
2 建設・製造業	97人																		
3 サービス業	107人																		
4 公務員・団体職員	76人																		
5 専業主婦(主夫)	119人																		
6 学生	15人																		
7 無職	161人																		
8 その他	105人																		
9 無回答	44人																		
<p>(森林所有の有無)</p> <table border="1"> <tr><td>1 ある</td><td>163人</td></tr> <tr><td>2 ない</td><td>556人</td></tr> <tr><td>3 無回答</td><td>47人</td></tr> </table>	1 ある	163人	2 ない	556人	3 無回答	47人	<p>(森林所有の有無)</p> <p>21.3%が森林を所有している。</p>												
1 ある	163人																		
2 ない	556人																		
3 無回答	47人																		
<p>(お住まいの市町村)</p> <table border="1"> <tr><td>1 盛岡広域振興圏</td><td>273人</td></tr> <tr><td>2 県南広域振興圏</td><td>306人</td></tr> <tr><td>3 沿岸広域振興圏</td><td>97人</td></tr> <tr><td>4 県北広域振興圏</td><td>59人</td></tr> <tr><td>5 無回答</td><td>31人</td></tr> </table> <p>※市町村毎に集計しているが、ここでは、便宜上、県内を4広域圏に区分して集計。</p>	1 盛岡広域振興圏	273人	2 県南広域振興圏	306人	3 沿岸広域振興圏	97人	4 県北広域振興圏	59人	5 無回答	31人	<p>(市町村)</p>								
1 盛岡広域振興圏	273人																		
2 県南広域振興圏	306人																		
3 沿岸広域振興圏	97人																		
4 県北広域振興圏	59人																		
5 無回答	31人																		

設問と回答内容

問1 あなたは、森林環境の保全に関心がありますか。

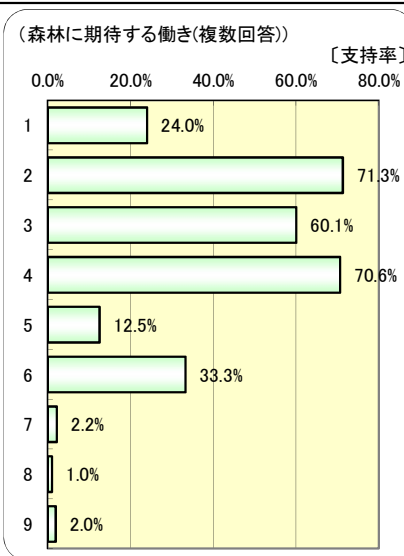
1 とても関心がある	168人
2 ある程度関心がある	424人
3 あまり関心がない	116人
4 ほとんど関心がない	34人
5 わからない	19人
6 無回答	5人



77.3%が森林環境の保全に関心があるとの結果。

問2 あなたが、森林に期待する働きは何ですか。期待する内容を3つまであげてください。

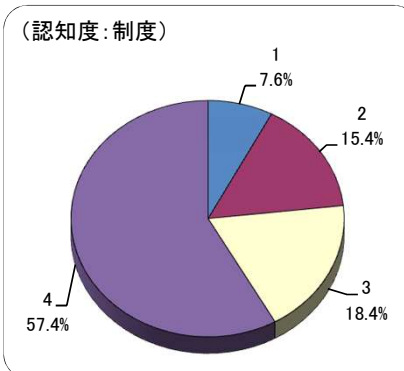
1 木材等を生産する働き	184人
2 二酸化炭素の吸収などによる地球温暖化防止の働き	546人
3 水を蓄え、浄化により良質な水を供給する働き(水源かん養)	460人
4 山崩れや洪水などの災害を軽減する働き	541人
5 行楽の場の提供や人に安らぎを与える働き	96人
6 動植物の生育・生息の場としての働き	255人
7 わからない	17人
8 その他	8人
9 無回答	15人



森林に期待する働きとして支持の高い順では、地球温暖化防止機能、災害軽減機能、水源かん養機能と続いている。

問3 あなたは、岩手県が「いわての森林づくり県民税」を導入していること(個人で年額1,000円を納めていること)を知っていましたか。

1 名称、税額を知っており、使い道も知っている	58人
2 名称、税額を知っているが、使い道はよくわからない	118人
3 名称は知っているが、税額や使い道はよくわからない	141人
4 名称、税額、使い道ともに知らない	440人
5 無回答	9人



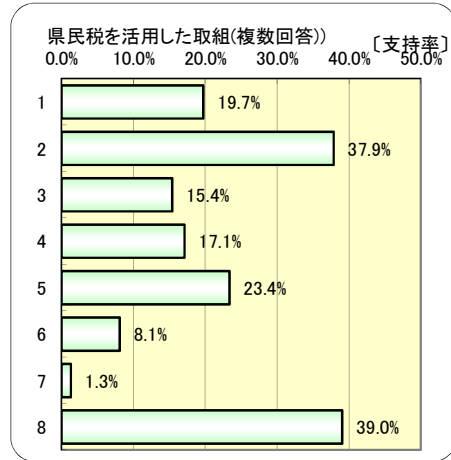
現行制度の導入を知っているとする者は41.4%との結果



問4 この県民税を活用して、下記の取組を行っています。これらの取組を知っていましたか。(複数回答可)

- ・間伐による人工林の針広混交林への誘導
- ・松くい虫被害木の除去
- ・ナラ枯れ被害の予防のための高齢林の伐採
- ・「県民参加の森林づくり促進事業」
- ・「いわての森のゼミナール推進事業」
- ・「いわての森林づくり普及啓発事業」
- ・「いわての森林づくり県民税事業評価委員会」の運営

1 間伐による人工林の針広混交林への誘導	151人
2 松くい虫被害木の除去	290人
3 ナラ枯れ被害の予防のための高齢林の伐採	118人
4 「県民参加の森林づくり促進事業」	131人
5 「いわての森林づくり普及啓発事業」	179人
6 「いわての森林づくり県民税普及啓発事業」	62人
7 「いわての森林づくり県民税事業評価委員会」の運営	0人
8 無回答	0人



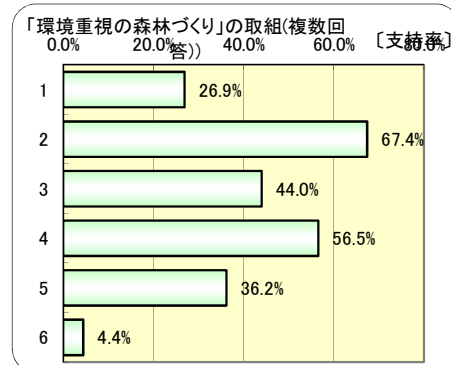
認知度が高い順に、松くい虫被害木の除去、県民参加の森林づくり促進事業、ナラ枯れ被害の予防のための高齢林伐採と続いている。

問5ア

「環境重視の森林づくり」の取組について、本県の森林の有する公益的機能の維持・増進や持続的な発揮のため、特に重要と思われるものはどれですか。あてはまるものを全てお選びください。

- 1 人工林の針広混交林への誘導
- 2 森林環境を保全する植栽
- 3 森林病虫害の防除対策
- 4 気象被害等を受けた森林の整備
- 5 公益上重要な森林の整備や管理のための道路整備

1 人工林の針広混交林への誘導	206人
2 森林環境を保全する植栽	516人
3 森林病虫害の防除対策	337人
4 気象被害等を受けた森林の整備	433人
5 公益上重要な森林の整備や管理のための道路整備	277人
6 無回答	34人



「環境重視の森林づくり」の取組で重要と思われる順は、森林環境を保全する植栽、気象被害等を受けた森林の整備、森林病虫害の防除対策と続いている。

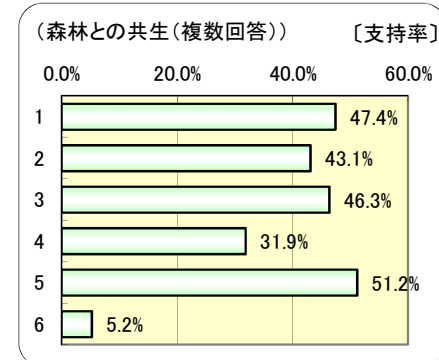
問5イ

「森林との共生」の取組について、県民の森林環境保全に対する理解の醸成を図るため、特に重要と思われるものはどれですか。

あてはまるものを全てお選びください。

- 1 地域住民が取り組む森林づくり活動への支援
- 2 木育の推進や公益機能の維持・増進
- 3 森林環境学習の展開
- 4 普及啓発活動の強化
- 5 地域の森林整備活動を推進する人材育成

1 地域住民等が取り組む森林づくり活動への支援	363人
2 木育の推進や公益機能の維持・増進につながる県産木材の活用	330人
3 森林環境学習の展開	355人
4 普及啓発活動の強化	244人
5 地域の森林整備活動を推進する人材育成	392人
6 無回答	40人



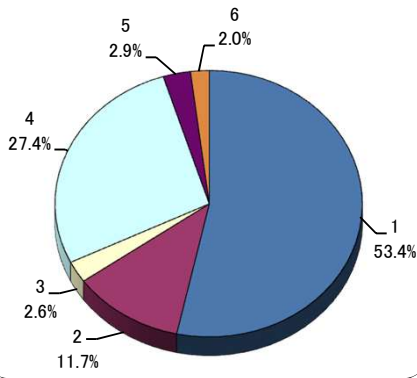
森林との共生の取組で重要と思われる順は、地域の森林整備活動を推進する人材育成、森林づくり活動への支援、森林環境学習の展開と続いている。

問6

令和3年度以降の「いわての森林づくり県民税」の事業に必要な課税期間を、これまでと同様に5年(令和7年度まで)とすることについてどう思いますか。

1 5年(素案)のとおりでよい	409人
2 もっと長い方がよい	90人
3 もっと短い方がよい	20人
4 わからない	210人
5 その他	22人
6 無回答	15人

(課税期間)



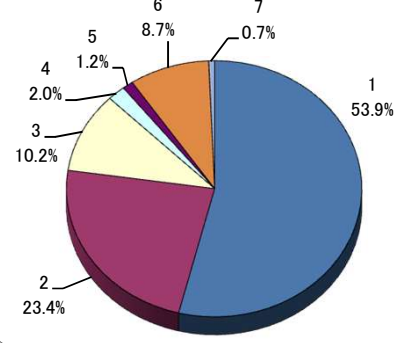
課税期間は、5年(素案)のとおりでよいが53.4%の結果となった。

2 もっと長い方がよい(内訳)		3 もっと短い方がよい(内訳)	
10年未満	1人	0年	0人
10~20年未満	58人	1年	1人
20~30年未満	7人	2年	2人
30~40年未満	2人	3年	14人
40~50年未満	0人	4年	1人
50年以上	4人	無回答	2人
無回答	18人	計	20人
計	90人		

問7 現在の「いわての森林づくり県民税」を令和3年度以降も継続することについてどう思いますか。

1 賛成	413人
2 どちらかといえば賛成	179人
3 どちらともいえない	78人
4 どちらかといえば反対	15人
5 反対	9人
6 わからない	67人
7 無回答	5人

(継続意向)



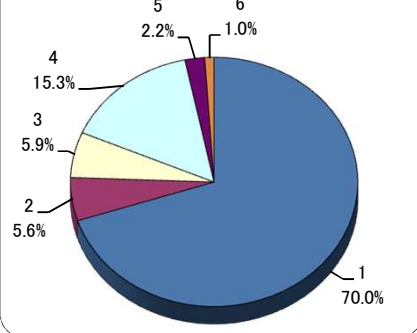
制度の継続について、賛成が77.3%となった。(回答1+回答2)

問8

令和3年度以降の「いわての森林づくり県民税」の事業に必要な課税負担額を、これまでと同様に1人あたり年1,000円とすることについてどう思いますか。

1 1人あたり年1,000円でよい	536人
2 もっと高くてもよい	43人
3 もっと安い方がよい	45人
4 わからない	117人
5 その他	17人
6 無回答	8人

(負担額)



負担額については1人あたり1,000円でよいとする意見が70.0%となった。

2 もっと高くてもよい(内訳)		3 もっと安い方がよい(内訳)	
1,001~2,000円未満	3人	0円	1人
2,000~3,000円未満	29人	1~200円未満	3人
3,000~4,000円未満	6人	200~400円未満	0人
4,000~5,000円未満	0人	400~600円未満	21人
5,000円以上	2人	600~800円未満	0人
無回答	3人	800~1,000円未満	3人
計	43人	無回答	17人
		計	45人

令和2年度いわて環境の森整備事業 施工地選定審査基準(審査)

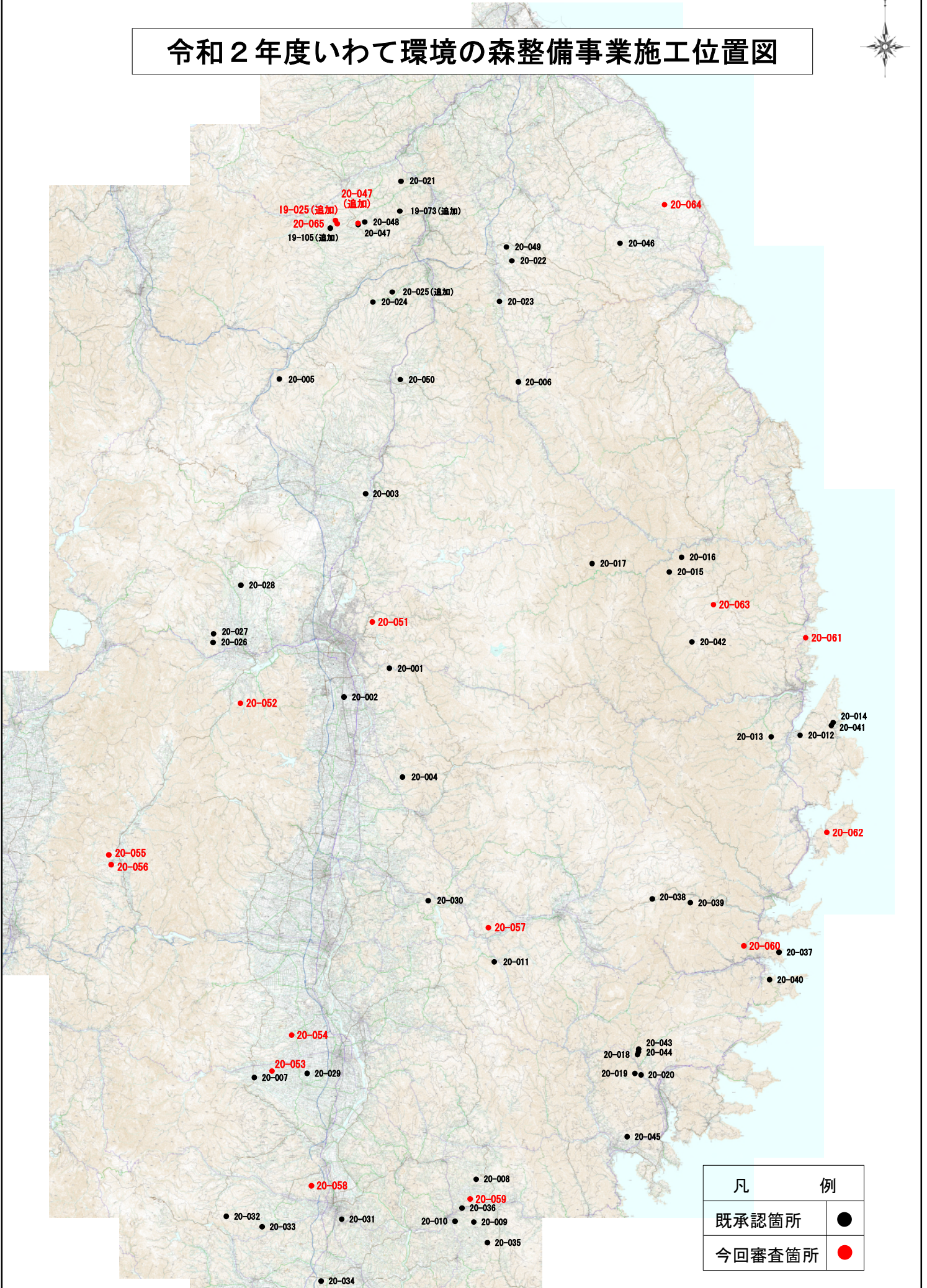
いわて環境の森整備事業の施工地選定審査に当たっては、下表に掲げる基準を満たしているものを適とする。

審査項目		審査基準
森林に関する事項	事業対象森林	① 私有林であること。
		② 人工林であること。
		③ 公益林であること。 ア 水源地域等の上流域の森林 イ 野生動植物生育の場として重要な森林 ウ 自然林に戻すことによって、景観的な多様性の維持・向上を図るべき森林 エ 上記に準ずる森林
		④ 保安林の場合は以下であること。 ア 損失補償の対象となっていないこと イ 既往の治山事業施工地でないなど、治山事業の採択基準を満たしていないこと ウ 採択基準を満たしていても、一定の期間にわたって森林整備を実施できていないこと
	採択基準	⑤ 対象樹種は、原則として人工林であるスギ、カラマツ、アカマツ等の針葉樹であること。 ただし、アカマツ天然生林においても、地域において保全上重要な森林については、対象とするものとする。
		⑥ 対象齢級は、原則として4から10齢級であること。 ただし、3齢級以下及び11齢級以上であっても、地域において保全上重要な森林で、本事業の計画に加えるべき森林については、対象齢級として取扱うものであること。
		⑦ 1施工地の面積は、0.3ヘクタール以上であって、原則として1ヘクタール以上の団地であること。 ただし、団地の考え方(団地性の判断)については、各施工地の相互の間隔が概ね10キロメートル以内の範囲であるものとする。(概ね半径10キロメートルの円内にすべての施工地が含まれること。)
森林所有者に関する事項	⑧ 協定書の締結に同意していること。 (現時点では口頭による確認)	

令和2年度いわて環境の森整備事業施工予定地一覧表(補助)

連番	受付番号	市町村	大字	字	樹種	面積 (ha)	林齢 (年生)	申請者	特記事項
001	20 051	盛岡市	下米内	至沢 地内	スギ	2.19	46～49	盛岡広域森林組合	
002	20 052	雫石町	西安庭	第54地割 地内	スギ	2.78	22～29	盛岡広域森林組合	
003	20 053	奥州市	胆沢若柳	前田 ほか 地内	スギ、ヒノキ	3.23	18～64	(株)小野寺林業	スギ 56～64年生 0.59ha
004	20 054	金ケ崎町	永栄	的岡沢 ほか 地内	スギ	6.51	25～60	奥州地方森林組合	スギ 60年生 0.59ha
005	20 055	西和賀町	沢内	太田第5地割 ほか 地内	スギ	9.05	33～63	岩手県森林組合連合会	スギ 53～63年生 1.52ha
006	20 056	西和賀町	沢内	新町第2地割	スギ	7.41	30～60	西和賀町森林組合	スギ 53～60年生 1.02ha
007	20 057	遠野市	宮守町下鱒沢	第13地割 地内	スギ	4.81	22～48	(株)イワリン	
008	20 058	一関市	赤荻	外山 ほか 地内	スギ	2.41	30～50	一関地方森林組合	
009	20 059	一関市	千厩町奥玉	入山沢 ほか 地内	スギ、ヒノキ	2.72	16～48	一関地方森林組合	
010	20 060	釜石市	両石町	第4地割 地内	スギ	8.86	30	釜石地方森林組合	
011	20 061	宮古市	田老	檜内 地内	スギ、アカマツ	4.77	33～49	岩手県森林整備協同組合	
012	20 062	山田町	船越	第21地割 ほか 地内	スギ、アカマツ	3.47	32～50	岩手県森林整備協同組合	
013	20 063	岩泉町	上有芸	川向 地内	スギ、カラマツ	6.53	28～45	岩手県森林整備協同組合	
014	20 064	洋野町	有家	第9地割 地内	スギ、ヒノキ	2.79	27～29	岩手県森林整備協同組合	
015	20 065	二戸市	上斗米	地竹沢 ほか 地内	スギ、カラマツ	4.23	17～37	二戸地方森林組合	
016	19 025	二戸市	上斗米	子々小沢 地内	スギ	0.65	31	二戸地方森林組合	追加申請(R1第1回委員会 承認面積 4.05ha)
017	20 047	二戸市	上斗米	地竹沢 地内	スギ	1.45	26～50	二戸地方森林組合	追加申請(R1第6回委員会 承認面積 4.29ha)
a	今回計	17施工地				73.86			
b	令和2年度	既承認面積				201.06			
c	a + b					274.92			

# 令和2年度いわて環境の森整備事業施工位置図



凡 例	
既承認箇所	●
今回審査箇所	●

## いわての森林づくり県民税事業評価委員会現地調査の実施及び今後の いわての森林づくり県民税事業評価委員会開催スケジュールについて

### 1 調査日程等

調査日	令和2年10月23日(金)		
調査場所	環境の森整備事業施工地等(花巻方面で調整中)		
調査行程	県庁集合・出発 9:00	県庁到着・解散 17:00	(予定)

### 2 連絡事項

調査当日(10月23日(金))は、午前9時までに県庁正面玄関へ集合するようお願いいたします。

後日、正式に御案内いたしますので、出席の御都合につきましてお知らせください。

現地調査当日の昼食は、事務局で用意いたします。

県庁から現地への移動には、県の公用車を使用いたします。

森林等の屋外での調査を予定しておりますので、防寒対策をお願いいたします。

また、天候によりましては、雨具等のご用意をお願いいたします。

解散時間は、当日の交通状況等により前後する場合がございますので、あらかじめ御了承願います。

### 3 いわての森林づくり県民税事業評価委員会の今後の開催について(予定)

- 第1回 令和2年 5月28日(木)(書面開催)
- 第2回 令和2年 7月10日(金)
- 第3回 令和2年 9月18日(金)
- 第4回 令和2年10月23日(金)【現地調査】
- 第5回 令和2年11月 6日(金)
- 第6回 令和2年12月中旬
- 第7回 令和3年1月下旬
- 第8回 令和3年3月上旬

【担当】 林業振興課 振興担当 東  
〒020-8570 盛岡市内丸10番1号  
電話：019-629-5776  
FAX：019-629-5779  
E-mail：chihiro-azuma@pref.iwate.jp